

公共施設マネジメント意見交換会の概要（7月15日実施分）

1. 開催日時・会場

<市内全域>

日 時 平成30年7月15日（日） 午後6時00分から午後8時30分

場 所 産業文化センター2階 第2集会室A・B

2. 内容

①開会あいさつ（田中市長）

②市役所及び市民会館・中央公民館の耐震化についての説明（増田主幹）

③意見交換会（浅見課長、岩田政策推進室長、増田主幹、大石主幹）

④閉会（大石主幹）

3. 参加者数

参加者 68名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

※ 応答における表記の例

（公マネ）：公共施設マネジメント推進課

（政策）：企画課政策推進室

公共施設マネジメント意見交換会 質疑応答一覧

<市内全域>

No.	発言要旨	応答
1	・Is 値について、具体的にどこが弱くて資料のような数字が出ているのか。	(公マネ) 市役所の中で一番数値が低い所は、B 棟 1 階の市民課のある部分である。市民会館・中央公民館は、公民館の 2 階部分である。
2	・スライド 39 の市役所の移転に関する費用について、この費用には土地のボーリング調査費用は含まれているのか。	(公マネ) 資料で示している費用の中には、ボーリング調査などは含まれていない。あくまで工事に関する費用である。選択する手法によっては、必要な費用が発生する可能性がある。
3	・市役所で Is 値が一番低い所が、1 階のホール部分であると言っていたが、議場も震度 2 程度で揺れて議員含め避難したことがあったかと思う。A・B 棟と一緒に C 棟も揺れる。耐震化は早急に進めるべきである。	(公マネ) 市役所の構造の特徴として、A・B 棟に広いホールがある。調査をしてもらった設計会社からは、このホールを補強することは技術的に難しいと言われている。市役所の 5 階にある議場も広い空間である。どのような形で耐震化を行うか決める必要がある。
4	・市民会館・中央公民館の方は、市役所と複合化したら解体するそうだがその跡地の利用は考えているか。	(公マネ) 市民会館・中央公民館がある場所は、都市計画上、都市公園の指定がされている。複合化案を選択した場合の跡地の利用については、公園整備を行うことを考えている。公園施設の一部として必要な施設を造る可能性はある。
5	・スライド 31 から 40 の市役所を耐震補強する案と免震構造とする案のデメリットとして、今後 20 年程度で建替える必要があると記載があるが、その理由が分からない。確かに古い建物であるが、耐震補強を行えば長持ちするはずである。	(公マネ) 耐震補強を行えば長持ちするわけではなく、同時に大規模改修を行う必要がある。日本建築学会でもそのような考え方を示している。大規模改修を行う上ではコンクリートの耐用年数の把握と設備の長寿命化が必要となる。耐震補強を選択した場合は、給排水設備や空調設備の定期的なメンテナンスを行うことで 20 年程度は持たせることが可能であり、それが一つの目安であると考ええる。コンクリートについては、コアの抜き取り調査を耐震診断の際に行った。経年劣化によって強度は落ち、亀裂があれば中の鉄筋は錆びてしまう。20 年経過した後、建替える必要がある。
6	・市役所の建替えに 82.4 億円かかるというのは、あまりにも降って湧いたような話である。いつ思い立ったのか。建替えすることに急ぎ足のような。もっと前から市民と話し合う必要があったと思う。	(市長) まず謝らないといけないことは、早く耐震化を行うべきだったこと。まず小中学校の耐震化を行い、子ども達の命を守ることを優先した。市役所や市民会館・中央公民館については、平成 23 年の東日本大震災の状況等を踏まえて耐震診断を行ったところ、強度が不足しており耐震化が喫緊の課題であることが判明した。これまで市報でもお伝えして、説明会なども行ってきた。県内の 63 市町村のうち 7 市町は庁舎の耐震化が行われていないが、計画もできていないのは入間市と小鹿野町だけとなっている。市民の皆さんの意見を聞きながら間違いの無い選択をしていく。

7	<p>・なぜこんなに急いで行う必要があるのか。スライド 68 のパターン 4 では、百何十億かかるということだった。再度検証するという話だったが、あまりにもずさんである。市役所や市民会館・中央公民館がある場所を売れば資産が増える。評価額は算出しているか。</p> <p>・パターン 4 は元からあった案なのか。なぜゼロからヒアリングすることとなったのか。</p> <p>・市民会館・中央公民館のある場所の評価額はいくらか。</p>	<p>(公マネ) 複合化案の 82.4 億円という費用は、当初から金額は変わっていない。百何十億という金額は 30 年間のライフサイクルコストのことかと思う。これまでも 4 つの案を示してきたが、周知が足りていないということで各地区で説明を行ってきた。複合化案も含め、市民の皆さんに意見をお聞きしている。</p> <p>また、市役所の敷地を売った場合、現在の地価で約 20 億円となる。仮に民間のマンションが建設され、どの程度税収が増加するかについても試算を行った。それ以外の場所への移転については、具体的に検証はできなかった。唯一、駅前の留保地について検証したが、一括買取りで 89 億円という金額が示されたがその条件を受け入れることは難しい。</p> <p>(公マネ) これまでも説明を行ってきた内容である。それに対して出た意見や指摘事項について今年度改めて検証しているところである。</p> <p>(公マネ) 都市計画上、都市公園として指定されており、売ることはできないため評価額は出していない。</p>
8	<p>・駅前の国有地について、将来的に高齢化が進んだ時には駅前に市役所があれば交通便利性が高い。耐震化を推進しているのは国であるのに補助金が出ないのはなぜか。</p>	<p>(政策) 駅前の国有地は旧ジョンソン基地の跡地であり、昭和 53 年に全面返還された。当時の大蔵省が土地利用に関する大綱を作り、一部公園や学校として使われている。その中で将来的な利活用のために残した場所が留保地となっている。東町と駅前と二か所あり、東町の方は災害拠点施設を造る計画を進めている。駅前留保地については、国も地元の意向を確認して進めるということであるが、全体の利用計画を示すことが条件となっている。市役所と市民会館単体でということは認められていない。</p>
9	<p>・市役所の耐震化については早急に対応してもらいたい。他の市町村に比べても相当遅れている。今後耐震化する上では、将来の入間市のことを考えて欲しい。人口減少が進めば市役所の役割は変化し、面積も今より少なくて済むはずである。施設の有効利用として、所沢のミュージアムといった立派な施設が近くにあり機能を分けて使っていけるのではないか。</p>	<p>(公マネ) 方向性が決まった後、具体的な規模や市役所の役割を考えて進めていく。現在の市役所の周辺にある施設の役割や近隣市との役割分担を考えていく。</p>
10	<p>・市民会館・中央公民館は、地震発生時の避難所として指定はされていないが、洪水時の避難所指定がされている。市役所は災害時に混乱することを防ぐため、多くの自治体で避難所としては指定していない。そういった時に市民会館の収容人数 1,800 人の機能は失われてしまう。黒須地区は小中学校、公民館が洪水時の避難所</p>	<p>(公マネ) どこを代替とするかは具体的には検討していない。公共施設マネジメント事業計画の策定を進めているが、防災の計画との整合を図りながら他の施設全体の役割、配置と併せて考えていく。市民会館・中央公民館の分をどこか一施設に移すのではなく、全体として見直しを図っていく。</p>

	<p>の指定はされていない。恐らく高倉か豊岡の方へ避難するかと思う。しかし、高倉寺周辺は県の土砂災害警戒特別区域となっており、避難所として機能するか分からない。市民会館・中央公民館が避難所として使えないことの代替は、何か考えているか。</p>	
11	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の免震構造について、立川断層の地震は恐らく縦揺れである。免震構造とした際の構造物の応答強度は計算しているのか。計算した上で耐震補強と免震構造に要する費用を算出しているのか。 中央公民館について、震度4のレベル1地震動で天井が剥がれる被害が出たようだ。避難所として使うのであればレベル2地震動に耐え得る必要があると思うが、避難所として使わないのであれば大規模な改修はしなくてもよいと思う。 	<p>(公マネ) 設計会社にシミュレーションしてもらい、構造計算の結果、免震構造でも可能だろうという見解を得た。今年度のシミュレーションでは、セカンドオピニオンではないが他の不確定要素もあったため、違う会社に再検証を依頼している。</p> <p>(公マネ) 市民会館にはホールがある。避難所として利用するだけではなく、もしホールを使ってイベントが行われている時に大きな地震が発生した場合、被害が出てしまう恐れがある。それを防ぐために改修が必要と考えている。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の耐震化については入間市は県内でも遅れており、早急に対応してもらいたい。機能が異なる施設を複合化することは難しい。最初から複合化をするつもりでいるように感じる。個別に考えてもらいたい。市役所は1階のホール部分が弱いといていた。非常に危険だが鉄骨鉄筋コンクリートであり、崩壊まではいかないと思う。市民会館・中央公民館は、先程コンクリートの中性化の問題について言及されていた。品質をよく確認して、改良していけば長寿命化が図れるのではないか。それぞれの施設を短期間で耐震補強することがよい。 	<p>(公マネ) 十分に検討する。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> 資料ではIs値の最低値ということで示しているが、もっとよい数字が出ている部分があれば教えてもらいたい。 耐震ブレースで補強する案の方が安く済む。なぜ安く済む方法を他のパターンで使わないのか。今やるべきことはいかに安く耐震化し、市の機能を維持し続ける方法を検討することである。市はもっと節約する姿勢を示して欲しい。 	<p>(公マネ) 他の部分ということであれば、市役所A棟の5階部分は0.6を上回っている。各階でバラつきがある。市民会館は地下部分で1.91という数字も出ているがこちらも全体ではバラつきがある。</p> <p>(公マネ) 耐震補強をする案では、大規模改修も必要である。最低でも15億円は必要であり、合計すると46.7億円となり免震構造とする案と1億円しか変わらない数字となる。またライフサイクルコストということで30年間の費用を試算しているが、最初にかかる費用は確かに免震構造や耐震補強の方が安いですが、いずれ建替える必要が出てくる。</p> <p>耐震補強の事業費には改修費用が含まれていない。耐震補強とは別に大規模改修が必要である。ライフサイクルコストについては、現在と将来の費用負担について改めて検証を行っている。</p>

14	<ul style="list-style-type: none"> ・産業文化センターのホールの稼働率は分かっていたら教えていただきたい。 ・市民会館のホールの稼働率も低い。産業文化センターも同様である。市民会館のホールの機能は産業文化センターに移し、展示室や音楽室など必要な機能のみ市役所に造ればよい。複合化した場合、新たなホールは700席程度にするということである。大きなコンサートは年間10回程度だという。市民会館は本当に必要なのか。本当に必要ななら所沢のミュージズや川越のウエスタのような施設を造ればよい。興業的なことを考えれば中途半端な規模のものは不要である。 ・事業計画の確定というのは市議会での議決をもって確定ということか。 	<p>(公マネ) 公共施設マネジメント白書のデータで古いものであるが、稼働率は35%である。</p> <p>(公マネ) 市民会館・中央公民館と産業文化センターとの役割については意見として承る。</p> <p>(公マネ) 事業計画は市議会の議決を要するものではないが、経過を含め報告を行い市として確定する。個別の施設に要する費用は予算案の中で計上するため、その都度審議していただく。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこんなに高い方に予算がいくのか。建設会社からいくらかもらっているのか。市長に票が入るのか。そうでないならなぜ建替えや複合化といったこんなにも高い費用の案ばかりなのか。もっと安くできるのではないか。 	<p>(市長) なるべくお金がかからない方法で耐震化を図る。長いスパンで見ても有利な案を選択する。現時点では、職員一人あたり何㎡の面積が必要という国の指標に基づいて試算している。しかし、将来の事業や仕事のやり方を考えてもっとコンパクトに安くできるのではないかとシミュレーションをしている。効率的に工夫しようとしていることはご理解いただきたい。</p>